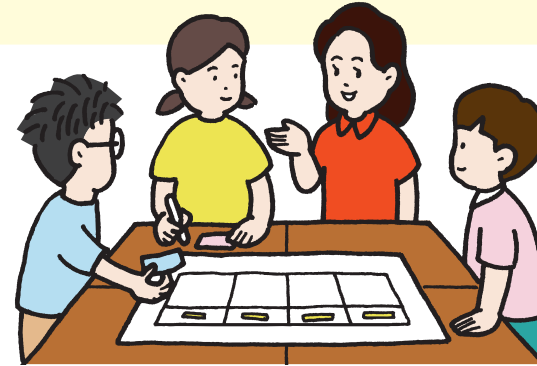


② 光村なら 学ぶ楽しさがある

「話すこと・聞くこと」「書くこと」の題材

思いと言葉があふれ出す

話すって楽しい
書くって楽しい



▲どんな係がクラスにあったら、毎日の学校生活が楽しくなるかを話し合う。

3年上「こんな係がクラスにほしい」

▶身の回りのものになりきって、どんなことを考えているかを想像して書く。

4年上「なりきって書こう」



新しい考えを求めて



▲自分の学校に関わってくれている方に、思いや考えを引き出すインタビューをする。

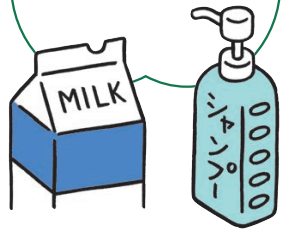
6年「聞いて、考えを深めよう」

▶学習や学校生活に関する友達の相談事を聞いて、話し合う。

2年下「そうだんにのってください」



未来を自分たちの
手でよくしたい



◀よりよくデジタル機器と付き合うために、気になることを調べて、提案する文章を書く。

6年「デジタル機器と私たち」

▶よりよい未来のために、どんなことを学ぶとよいかを考え、新教科を提案するスピーチをする。

5年『子ども未来科』で何をする」

◀身の回りのユニバーサルデザインについて調べて、報告する文章を書く。

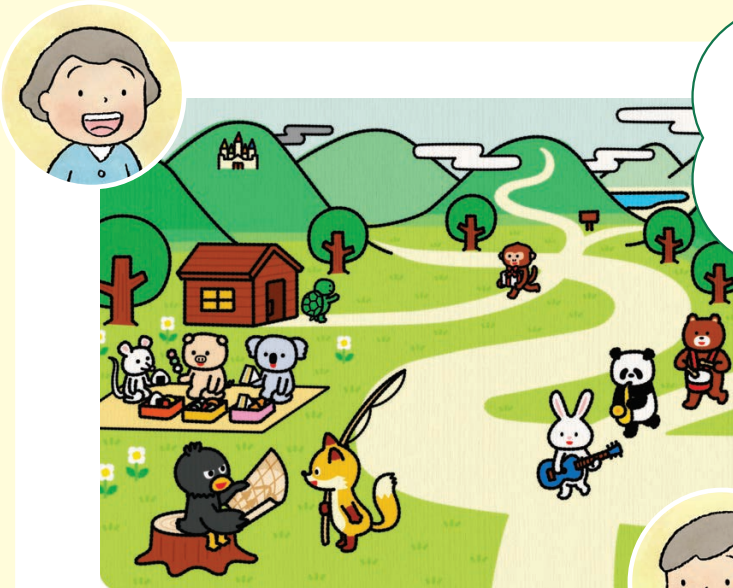
5年「みんなが使いやすいデザイン」



想像が広がって
わくわくするね

◀絵の中の動物になりきって友達と会話することで、お話を創作する。

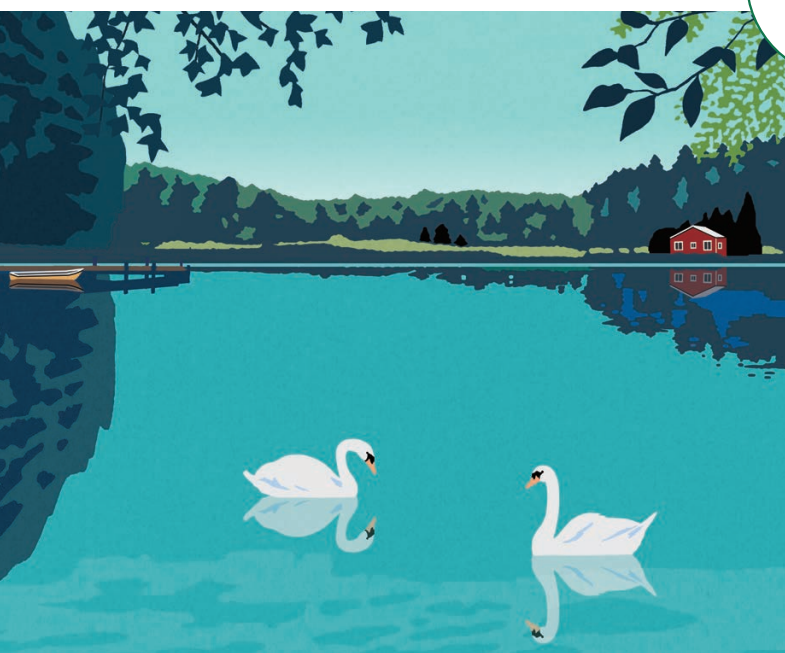
1年下
「どんな おはなしが できるかな」



心を動かす言葉と出会う

世界が広がる

物語を通して、これまで経験したことがない出来事に触れる。新しいものの見方を知る。そんな出会いが、子どもたちの世界を広げます。



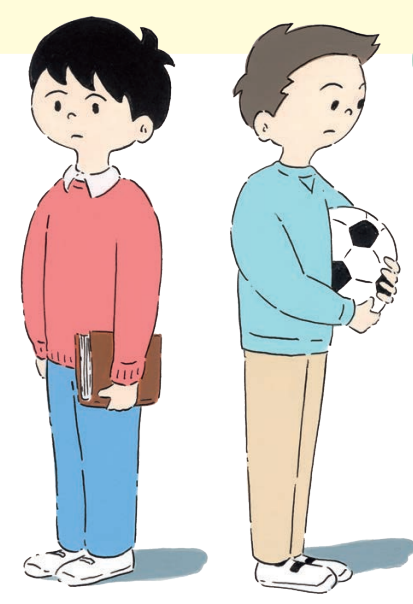
▲ 4 年下「スワンレイクのほとりで」 小手鞠うい



▲ 5 年「銀色の裏地」 石井睦美

あなたはどれが好き

SF やミステリーなど、多様なジャンルの作品を新たに収録。誰もが、自分にとってお気に入りの作品に出会えます。



▲ 4 年下「友情のかべ新聞」 はやみねかおる



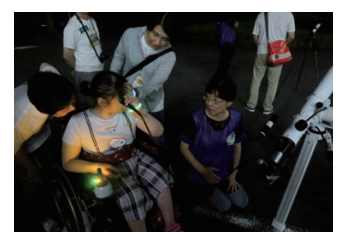
▲ 2 年下「みきのたからもの」 蜂飼耳

ともに生きるために

多様性を尊重し、手を取り合って生きる社会。自然の恵みに感謝し、環境を大切にする社会。そんな社会の在り方を考えます。



▲ 4 年上「神様の階段」 今森光彦



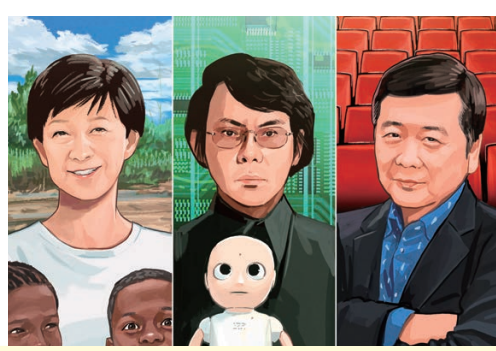
▲ 6 年「星空を届けたい」 高橋真理子

本質を見つめて

▲ 6 年「人間は他の生物と何がちがうのか」 福岡伸一

「考えるとは。」「人間とは。」「言葉とは。」物事の本質を深く見つめた先にある言葉は、思考を刺激し、視野を広げてくれます。

▼ 6 年「『考える』とは」 鴻上尚史・石黒浩・中満泉

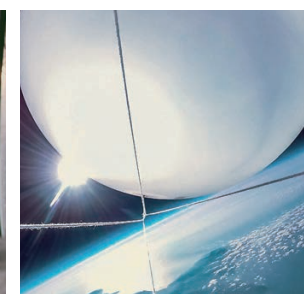


未来を切り開く

説明文の筆者は、それぞれの分野のエキスパート。彼らの挑戦や取り組みには、生き方を考えるヒントも隠れています。



▲ 4 年下「未来につなぐ工芸品」 大牧圭吾



▲ 4 年下「風船でうちゅうへ」 岩谷圭介